

【現状チェック】「正しい発信」がスルーされる原因を探る

反応が消えた「無風」の投稿

良いことを言っているはずなのに、誰も足を止めない。

今のあなたは、こんな状態ではありませんか？

- 誰にも否定されないように、言葉を選びすぎてしまう
- 投稿した後、何の反応もない「静寂」が怖い
- 自分の言葉が、まるで空気のようにスルーされている感覚
- 「正解」を言っているはずなのに、書いた本人もワクワクしない

— 診断：安全を優先しすぎて、言葉の「温度」が消えています —

言葉が、綺麗すぎる。 あなたの「体温」が、抜けている。

- 嫌われないことを優先し、無難なまとめ方になっている
- 誰にでも当てはまる言葉を使い、あなたである必要が消えた
- 「引っかけり」を削りすぎて、読み手の心に刺さらない

原因の核心

完璧な「正解」は、誰の記憶にも残らない

「否定されないこと」を守った結果、誰にも響かない言葉になっています。

その「努力」の方向を変える

「正しさ」は武器にならない

× 捨てていい思い込み

整った言葉 = 共感される
無難な内容 = 価値がある
嫌われない = 選ばれる

○ 新しい基準

綺麗さより「手触り」を出す
無難を捨てて「本音」を置く
否定を恐れず「軸」を見せる

「嫌われない」は「選ばれない」と同じ意味です

誰の心もざわつかせない文章は、誰の心も動かさません。

あえて「未完成」のまま置く

【感情の揺れ】 迷いや葛藤を隠さずに出す



【本音の挿入】 綺麗にまとめず、生身の声を差す



【不完全の受容】 弱さや未熟さを味方にする

上手な文章を目指すのをやめ、「生きた言葉」を優先する

読み手が、あなたの言葉で止まる

- 流されていた投稿 → 「続きを読みたい」と思われる
- 表面的ないいね → 「これ私のことだ」という深い共感
- 誰が書いたか不明 → あなたの名前が記憶に刻まれる
- 反応のない無風 → 熱量のあるコメントや相談が届く

「無難」を削り、「本音」を足す

1. 直近の投稿（または下書き）を一つ開く
2. 「正直、～」で始まる本音の一文を追加する
3. その時の迷いや、カッコ悪い自分を一行だけ書く
4. 文末の「～だと思います」を「～です」と言い切る
5. 抽象的な表現（幸せ、成功等）を、具体的な情景に変える
6. 完成させすぎず、そのまま再投稿する

「無難化」を検知する基準

点検項目

- ✓ 誰かに嫌われるのが怖くて、言葉を丸めていないか？
- ✓ その文章を読んで、あなたの「顔」が浮かぶか？
- ✓ 綺麗にまとめすぎて、心が動かなくなっていないか？

得られる効果

無駄な削りすぎを防止
共感の入り口（フック）の確保
あなた独自の「ファン」を作る土台

投稿ボタンを押す前に、言葉に「体温」があるか確認してください。

自分の温度で、誰かと繋がる

「正解」を捨て、心で繋がる。

過去投稿に一文追加 / 無難投稿の修正
一週間、自分の「本音」を観察する

迷ったらまたここへ。綺麗さよりも、引っかかりを。